

バリファックス

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。
又、必要な時に読めるように大切に保管してください。

痛みや熱は、からだの異常を知らせる合図です。しかし、がまんできないものは苦痛であるとともに、日常生活にも支障をきたします。アスピリンはこうした痛みや熱に優れた効果を発揮し、症状を鎮めます。バリファックスは、このようなアスピリンの効果を高めるために、胃への負担を緩和し有効成分の吸収を早める合成ヒドロタルサイトを配合しました。



使用上の注意



× してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15歳未満の小児。
- (4) 出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないでください

4. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血
精神神経系	めまい
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中 の痛み、過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

裏面もお読みください。

【効能・効果】

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

【用法・用量】

なるべく空腹時をさけて服用し、服用間隔は6時間以上おいてください。

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
成人(15歳以上)	2錠	2回を限度とする。
15歳未満	服用しないでください。	



<用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法及び用量を厳守してください。
- (2) 錠剤の取り出し方

下図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。

(誤ってPTPシートをそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



<PTPシートの取り出し図>

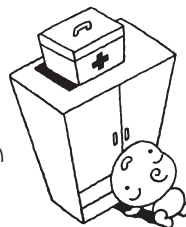
【成分・分量とその主な作用】

成 分	1日量(4錠)中	主 な 作 用
アスピリン(アセチルサリチル酸)	1320mg	鎮痛・解熱作用
合成ヒドロタルサイト	400mg	胃粘膜保護作用

添加物としてタルク、トウモロコシデンプン、マクロゴール、酸化チタン、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、無水ケイ酸、青色1号を含有します。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) PTPシートを切り離すときは、変質の原因となりますので、服用しない本剤の裏面のアルミ箔に傷をつけないようにしてください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎0120(149)931

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店あるいは下記にお願いいたします。

アスゲン製薬株式会社 お客様相談窓口

電話：0572-68-1865

受付時間 9：00～17：00(土、日、祝日を除く)

製造販売元 **アスゲン製薬株式会社**

岐阜県瑞浪市山田町字小洞 2008